

● プログラム ●

第26回ヘルスリサーチフォーラム 及び 2019年度 研究助成金贈呈式

在宅医療時代のヘルスリサーチ

— 選考委員長 —



山崎 力
国際医療福祉大学
未来研究支援センター
センター長

— 座 長 —



平野 かよ子
宮崎県立看護大学
学長



長谷川 剛
医療法人社団愛友会
上尾中央総合病院
特任副院長



甲斐 克則
早稲田大学 理事／
早稲田大学大学院
法務研究科 教授



伊賀 立二
東京大学
名誉教授



川越 厚
医療法人社団バリアン 理事長／
クリニック川越 院長



矢作 恒雄
慶應義塾大学
名誉教授

◆ 日 時：2019年12月7日(土)

- ・ フォーラム：午前9時30分～午後5時25分(午前10時00分よりポスターセッション開始)
- ・ 贈呈式：午後5時40分～午後6時30分
- ・ 情報交換会：午後6時30分～

◆ 会 場：千代田放送会館

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町1-1
TEL：03-3238-7401

参加
無料

後 援 厚生労働省

協 賛 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

開催趣旨

本フォーラムは、研究助成を受けた方による研究成果発表に加えて、ヘルスリサーチを志す研究者に広く発表の場を提供することを目的とした公募による一般演題発表も併せて実施するという、ユニークな研究交流の場として定着して参りました。

本年度の研究成果発表は、平成29年度国際共同研究8題、同国内共同研究(年齢制限なし)14題、同国内共同研究(満39歳以下)11題および平成28年度研究成果発表1題に、一般公募演題発表4題を加え、計38演題を6つのセッションに分けて実施致します。また、フォーラム終了後には、本年度の研究助成受賞者への助成金贈呈式を行います。本フォーラムは、厚生労働省の後援を頂くとともに、一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構のご協賛を得て、開催致します。

当該領域の研究者の皆さまには、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

■ 参加申込方法：当財団ホームページからお申し込み下さい。

尚、応募多数で定員を超える場合は先着順とさせていただきます。

当財団URL：<https://www.health-research.or.jp>

申込締切：2019年11月18日(月)

9:30～10:00 ポスター見学

注) 助成研究の発表者の所属・肩書は採択当時のものです。

10:00～11:40 セッション 1 (A会場:3F)

座長：宮崎県立看護大学 学長 平野 かよ子

- 胎児および出産後早期の乳児に対する母親のボンディング障害の実態と関連要因に関する研究
九州大学大学院 医学研究院保健学部門看護学分野 助教 末次 美子
- アトピー性皮膚炎へのマインドフルネス統合心理介入プログラムのための国際研究
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野 博士後期課程2年生 岸本 早苗
- プレコンセプションケア啓発プログラムの開発及び実践と評価
秋田大学大学院 医学系研究科 環境保健学講座 助教 前田 恵理
- ★ ケアプランの作成プロセスの見える化に関する実験的研究
早稲田大学 人間科学学術院 准教授 多賀 努
- ★ 長期療養病床質向上システムの構築：質指標開発とスタッフQOLへの介入
東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授 山本 則子
- ★ 日常場面の子育て世代・高齢世代交流分析による多世代共生モデルの開発
聖路加国際大学大学院 看護学研究科 小児看護学 教授 小林 京子
- ◎ 人工呼吸器装着児の訪問看護ステーション受け入れ困難理由の検討
福岡大学 医学部看護学科 助手 隈本 寛子

10:00～11:25 セッション 2 (B会場:3F)

座長：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 特任副院長 長谷川 剛

- 全国の離島診療所における医療提供体制の実態把握および遠隔診療の活用拡充の検討
東北大学大学院 歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター助教 杉山 賢明
- ★ リアルタイム持続血糖測定データを用いた周術期血糖管理リスクエンジンの開発
千葉大学大学院 医学研究院 細胞治療内科学講座／千葉大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 助教 越坂 理也
- ★ 本邦における環境要素および併存疾患が血清IgG4及びIgG4関連疾患に与える影響について
金沢大学附属病院 リウマチ膠原病内科 講師 川野 充弘
- ミャンマー、タイ都市部における2型糖尿病患者の食習慣・活動習慣の実態
順天堂大学国際教養学部国際教養学科 教授 湯浅 資之
- ◎ ソーシャル・キャピタルと災害被害者の健康～熊本地震被災者の健康について～
公益財団法人地震予知総合研究振興会 東濃地震科学研究所 主任研究員 古本 尚樹
- ◎ 大学が展開する地域保健師対象の統計・保健指導セミナーの意義と波及効果
宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治

10:00～11:40 セッション 3 (C会場:7F)

座長：早稲田大学 理事／早稲田大学大学院法務研究科 教授 甲斐 克則

- 若年の精神疾患経験者のリカバリーから分析する、自殺完遂を防ぐ因子の解明と支援プログラム策定
東京大学大学院 医学系研究科 精神医学分野 博士課程2年生 金原 明子
- 認知症高齢者の「死の質」に関する質的調査および尺度開発
福島県立医科大学 臨床研究イノベーションセンター 助手／臨床研究フェロー 長沼 透
- ★ 治療と就労の両立支援を推進するための多面的な評価と普及の方策
東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 准教授 須賀 万智
- 国境のない「結核」拡大防止に向けたDOTS戦略と教育介入研究：日本ーベトナム
国立国際医療研究センター呼吸器内科・国際感染症センター 医師 高崎 仁
- がんゲノム医療推進のための日米比較研究
東京大学医科学研究所／附属病院血液腫瘍内科 特任准教授 安井 寛
- 高齢者の在宅介護ロボットの研究開発と社会実装における倫理的課題
千葉大学大学院看護学研究科 生活創成看護学講座地域創成看護学教育研究分野 訪問看護学専門領域 教授 諏訪 さゆり
- ◎ 精神障害者の在宅医療の可能性と法的諸問題
広島修道大学法学部 教授 山田 晋

11:50～12:40 昼食 (1F ラウンジ)

12:40～12:55 挨拶 (2Fホール会場)

主催者挨拶

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長

島谷 克義

来賓挨拶

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究主幹

野中 祥子

■印は2017年度国際共同研究助成による研究／★印は2017年度国内共同研究（年齢制限なし）助成による研究／●印は2017年度国内共同研究（39歳以下）助成による研究／○印は2016年度国内共同研究（39歳以下）助成による研究／◎印は2019年度一般公募演題

13:00～14:25 セッション 4

座長：東京大学 名誉教授 伊賀 立二

- 心不全診療の質改善を目的とした日英比較研究：疾患レジストリからビッグデータまで
国立循環器病研究センター心臓血管内科部門 客員研究員 永井 利幸
- 医療提供、総合診療医育成と臨床研究体制に関する日本とスウェーデンの比較研究
島根大学医学部地域医療政策学講座 教授 廣瀬 昌博
- ★ 腎保護的降圧目標の検討と診療科別にみた降圧薬処方状況調査
京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 薬剤疫学分野 特定講師 碓井 知子
- ★ 地域調剤薬剤師への吸入指導教育プログラムが喘息およびCOPD患者に及ぼす効果
名古屋市立大学大学院 医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 呼吸器・アレルギー内科 病院講師 竹村 昌也
- ★ 再生医療の実現化を見据えた医療経済評価予測の基礎研究
京都大学 iPS細胞研究所 上廣倫理研究部門 特定准教授 八代 嘉美
- ★ 高齢者のポリファーマシー対策-地域連携による戦略構築
社会医療法人製鉄記念八幡病院 理事長・病院長 土橋 卓也

14:25～15:50 セッション 5

座長：医療法人社団パリアン 理事長／クリニック川越 院長 川越 厚

- 在宅認知症患者の睡眠障害のパターンの同定と介護負担感との関連の探求
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 ヘルスプロモーション・システム科学研究室 博士後期課程1年 樋上 容子
- 健診を活用した簡便な認知機能評価に基づく認知症の超早期発見と三次予防効果の検証
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 国際健康推進医学分野 助教 森田 彩子
- 我が国のうつ病のがん患者に対する行動活性化療法の有用性に関する研究
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 医員 平山 貴敏
- 認知症の介護家族を対象とした心理教育的介入プログラムの開発
日本医科大学 医療心理学教室 講師 樫村 正美
- ★『意思決定支援ビデオ』は在宅高齢患者のアドバンス・ケア・プランニングを促進するか
三重大学大学院 医学系研究科 地域医療学講座 博士課程3年生 湯浅 美鈴
- ★ 施設介護職の看取りの熟達を支援する目標段階別教育プログラムの開発
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究副部長 島田 千穂

15:50～16:00 コーヒーブレイク

16:00～17:25 セッション 6

座長：慶應義塾大学 名誉教授 矢作 恒雄

- 精神疾患合併患者の救急搬送に対する診療報酬改訂が自損患者の救急搬送に及ぼす影響
大阪大学大学院 医学系研究科 救急医学教室 医員・外科系臨床医学専攻 博士課程4年 片山 祐介
- 介護予防事業の評価と早期予防介入のための指標の開発
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 主任研究員 山岡 淳
- 厚生労働省NDBオープンデータを活用した診療の費用負担に関する研究
国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 医療サービス研究領域 主任研究官 吉村 健佑
- ★ 非接触情動計測による個性創発イメージングとそのASD医療支援システムへの応用
千葉大学大学院 工学研究院 准教授 津村 徳道
- ★ 医療分野での意思決定
岩手県立中央病院 がん化学療法科 がん化学療法科長 加藤 誠之
- 地域で探す少子高齢化社会の処方箋
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室 准教授 梅崎 昌裕

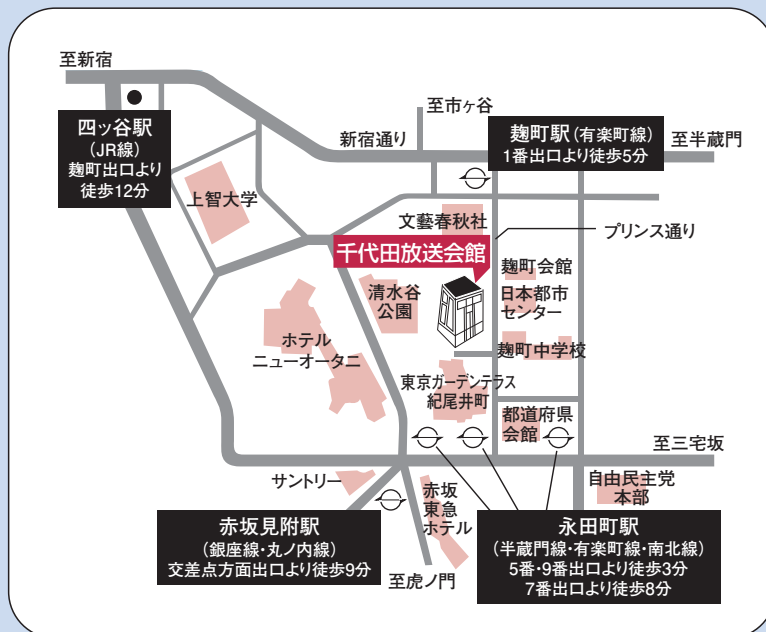
17:25～17:40 休憩

17:40～18:30 第28回2019年度研究助成金贈呈式（2F ホール会場）

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 来賓挨拶 | 厚生労働省大臣官房 厚生科学課長 佐々木 昌弘 |
| | ファイザー株式会社 代表取締役社長 原田 明久 |
| 選考経過・結果発表 | 国際医療福祉大学未来研究支援センター センター長 山崎 力 |
| 研究助成金贈呈 | 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長 島谷 克義 |

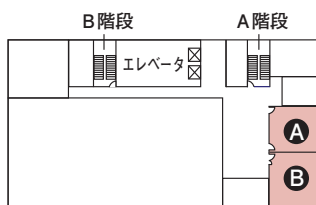
18:30～ 情報交流会（1F ラウンジ）

● 千代田放送会館案内図 ●

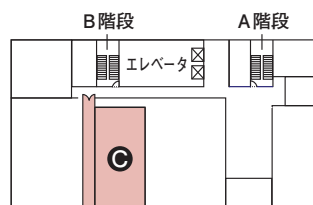


● 会場図 ●

ポスターセッション

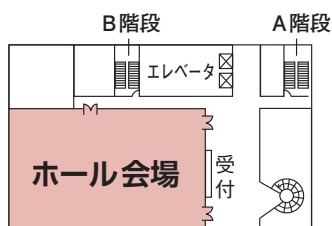


3F (小会場 A、B)



7F (小会場 C)

ホールセッション



2F (ホール会場)

お問い合わせ・連絡先

公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ振興財団
 〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル
 TEL:03-5309-6712 FAX:03-5309-9882
 E-mail: hr.zaidan@health-research.or.jp
 URL: <https://www.health-research.or.jp>